



より低い位置にも対応できる NCF Booster待望の高CP版が新登場

Profile：何個でも追加したくなる、常識を超えたクオリティアップ効果で話題のコネクター・ケーブルホルダー、フルテック NCF Booster シリーズ。その第3弾として、「NCFBooster-Signal-L」が新登場した。既発モデルに比べて、より低い位置にある端子類をサポートできることと、ぐっと手頃な価格になった点がポイントだ。オプションや姉妹モデルとの自由な組み合わせや、発展・強化する使いこなしも従来通り、もちろん可能となっている。本シリーズをすでに導入し、その効果を認める小原由夫氏がいち早く自宅に導入し、クオリティアップ効果と使いこなしをレポートする。

Text by 小原由夫 *Yoshio Obana*
製品 Photo by 田代法生



FURUTECH NCF Booster-Signal-L

コネクター／ケーブルホルダー ¥14,800 (税別・1個)
※写真左側は、高さを最も低い状態に設定したところ

Specifications

- クレイドル：フラットタイプ ●高さ設定：基本（一番低い位置での高さ）23.8mm、延長81.4mm（オプションでさらに追加可能） ●ベースユニット外部サイズ：89.8 × 66.0mm ●外部サイズ：46W × 112L × 23.8Hmm ●質量：基本約130.5g、延長約177.5g ●付属品：エクステンションシャフトバー×2本、固定リング×2本、特殊PU滑り止め透明マット×4個 ●取り扱い：フルテック（株）



低い位置にも対応できる
万能な使いこなしを実現した

ケーブルインシュレーターとなるカテゴリのアクセサリが登場して以降、さまざまな形状・素材のアイテムが相次いで発売されているが、多角的な目的に対応できる優れたものとなると、フルテックのNCF Boosterの右に出るものはないだろう（もともと本品のコンセプトは、コン

現物で最低高さを実測してみると、オリジナル品は設置面から44mmに対して、新製品は24mmと断然低い。このことで、背面パネルギリギリのHDMI端子やLAN端子、ACインレットなどに使用しやすくなった。

クレイドルフラット部は共通仕様だ。すなわち、オーディオグ

ントや端子をクランプすることで、脱着防止と制振効果、静電気除去効果を狙ったもので、ケーブルインシュレーターとしての使い途は応用例になるだろう。

オリジナルのNCF Booster-Signalは、ベースユニットの厚みの制約で、設置面から近い（低い）位置にある端子やACインレットには使いにくかったのだが、今回発売されたNCF Booster-Signal-Lは、そうしたエクスキューズをクリアし、万能な使いこなしを実現したものとして注目したい。具体的には、端子部の受けとなるクレイドルフラット部やシャフトバーなどは共通とし、ベースユニットを厚みのある樹脂+鉄製ウエイトから、特殊パウダーコーティングしたスチールプレート製として薄型化し、設置の自由度を高めている。

脱着防止と制振効果、静電気除去効果を狙ったもので、ケーブルインシュレーターとしての使い途は応用例になるだろう。

オリジナルのNCF Booster-Signalは、ベースユニットの厚みの制約で、設置面から近い（低い）位置にある端子やACインレットには使いにくかったのだが、今回発売されたNCF Booster-Signal-Lは、そうしたエクスキューズをクリアし、万能な使いこなしを実現したものとして注目したい。具体的には、端子部の受けとなるクレイドルフラット部やシャフトバーなどは共通とし、ベースユニットを厚みのある樹脂+鉄製ウエイトから、特殊パウダーコーティングしたスチールプレート製として薄型化し、設置の自由度を高めている。

好評の優れた効能はそのままに より幅広い機器と用途に対応する



左からシリーズ第1弾「NCF Booster」(¥32,800/税別、クレイドル・カーブド)、第2弾「NCF Booster-Signal」(¥19,800/税別、クレイドルフラット)、第3弾「NCF Booster-Signal-L」

ン扱いであったトップクランプが使用可能か未発表だが、エクステンションシャフトバーを別途購入して連結・延長すれば、高い位置やクレイドルフラットの複数使用も可能だろう。

インシュレーターに試すと 立体感や描写力が向上した

私は早速自宅でこのNCF Booster-Signalを試用し始めた。なお、既発のNCF Boosterなども発売以来ずっと愛用し続けている。

LANやUSB端子では S/Nや音圧と描写を改善

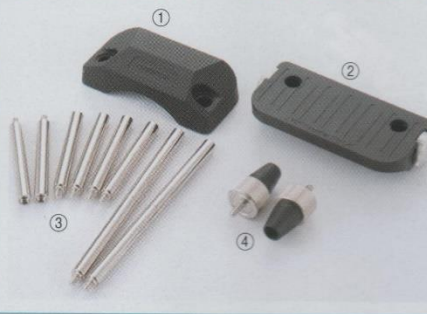
ネットワークトランスポートのAurender W20のLAN端子にもNCF Booster-Signalは非常に具合がいい。これもステレオイメージの見通し向上がもたらされ、ハイレゾソースが一段とハイレゾらしく聴こえる。

SACD/CDプレーヤーT+A PDP3000HVのUSB DAC入力には、Silent House Audio Lab.

フルテックNCF Booster-Signalは、既発モデルの効能はそのままに、より幅広いニーズに対応できるアイテムとして話題になるに違いない。

のUSB伝送用サウンドトリートメントユニットNFU-USB 2・0Rを活用しているが、そのユニットが質量とサイズ面から少々垂れ下ってしまつて具合が悪い(この手のアイテムの、まさに急所である)。ここにもNCF Booster-Signalを用いることにした。視覚的にも精神的にも安堵できる一方、音質面でもS/N向上と音圧感のアップ、ディテール描写の改善が実感できた。

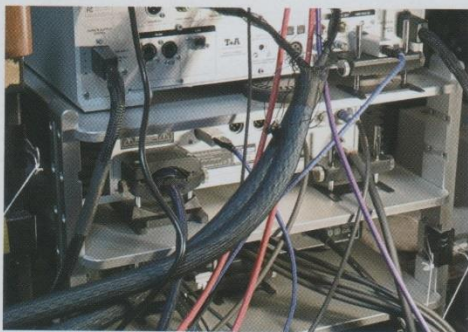
【NCF Boosterシリーズの多彩なオプション】



- ①「TopClamp」(¥13,800、税別)。NCF Booster-Signalに追加し強化可能。ステンレスパウダーを基本材料とし、複数の特殊制振金属パウダーを調合、ナイロン樹脂と複合せ、質量は約295g
- ②「Cradle-Flat」(¥12,000、税別)。NCF Booster-Signalのケーブルホルダー部の単売品(固定リング2個付属)。追加で自在&複合的な応用ができる
- ③「Extension Shaft Bar」(¥3,000/10本セット、税別)。1本あたりの高さ59.5mm、手でねじ込むだけで連結可能
- ④「Shaft Bar Adjuster」(¥3,800/2個、税別)。クレイドル部の高さを微調整、最適化する中継具



"NCF Booster 効果" をケーブル周りだけでなく、機器本体を支えるダイレクトインシュレーターにも生かせる。今回、プレーヤーを3点で支持。追加用シャフトバーを外せば、機器シャーシの下に入れ込むことも可能



USBやLAN端子は勘合が不安定でケーブルがぐらつきやすいので、本シリーズで支持する効果は大きい。ラック上段のT+A PDP3000HVのUSB端子、中段Aurender W20のLAN端子などに、NCF Booster-Signal-Lを挿入